

# こだま

第173号  
2011.1

ISSN 0915-8782

## CONTENTS

巻頭対談 .....	1
学外から電子ジャーナルを読むための2つの方法 .....	4
ラーニング・コモンズKULiC-α活動報告 .....	6
金大生のための読書案内 .....	7
トピックス .....	8

金沢大学附属図書館報“こだま”

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp>

## 巻頭対談 - 金沢21世紀美術館に学ぶ -

金沢21世紀美術館館長  
**秋元雄史**

あきもと ゆうじ

国吉泰雄美術館、ベネッセアートサイト直島の企画運営に携わり、2004年から2006年まで地中美術館館長を務めた。2007年4月より金沢21世紀美術館館長に就任。



しばた まさよし

金沢大学教授。2008年より金沢大学人文学類長（文学部長兼任）と金沢大学附属図書館長を兼任している。

金沢大学附属図書館長  
**柴田正良**

魅力ある知的空間とは

2回目の対談となります今回は、金沢21世紀美術館の秋元館長を対談の場「ほん和かふえ。」にお招きしました。コーヒーを飲み、リラックスした雰囲気の中で金沢21世紀美術館の魅力や、知的創造空間としての美術館、図書館について刺激的なお話をうかがいたいと思います。司会：岡部幸祐（情報サービス課長）

### 古典的観賞スタイルからの逸脱 ◆◆◆◆◆

——現代美術を展示している金沢21世紀美術館には年間150万人もの入館者があります。これは他に例の無いことだと思うのですが、何か理由はありますか？

**秋元**●よくその質問を受けますが、実のところよくわからないんです。ただ推し量ると、子供や若い人向けのプログラムが沢山あって、それが時代の動きというか需要にフィットしたのかなとは感じます。入館者の中には、いわゆる現代美術のコアなファンはもちろんのこと、知的好奇心をくすぐられるものに反応するような人たちが含まれている、そんな感じなんだろうと思います。

**柴田**●現代美術は、もともと子供受けというか若者受けする要素があるような気がします。いわゆる普通の美術好きの人たちの中で、現代美術好きというコアなファンは少数集団ですよ。でも現代美術というのは子供向けの側面があって、子供はもちろんのこと、若いお母さんも子供目線で楽しめるといったところがあると思うんです。

**秋元**●そうですね。でもその考えに至るのに時間がかかったんです。今までの美術館は教養主義の延長線上に捉えられていて、来館者にある一定の知的レベルというか、文化的に成熟した人間性を求めているんです。そういうお客さんのニーズに合わせて美術館をつくらうとすると、今の21世紀美術館は出来なかったと思います。

**柴田**●21世紀美術館は建築としてもおもしろいですね。美術館というとアメリカのメトロポリタン美術館のようにギリシャ神殿風の荘厳な建物が思い浮かぶんです。ここでは美の遺産に対して畏れ敬い、ひれ伏すって感じですよ。でも最近はそのじゃない。若い人たちはありがたがって祭り上げるのではなく、美術館という空間を使いこなして、自分達がくつろげる空間にしている。

**秋元**●まさにその通りですね。21世紀美術館は、最初から子供や若い人をターゲットにつくったわけではなく、まず現代美術の活きのいいところをどんどん紹介しているよ。そうしたらメトロポリタンに置いてある文化遺産的なものではなく、なんだかよくわからない雑多のものが集まったわけです。そこに一番反応したのが子供と若い人だった。そこを真面目に突きつめていたら、こうワッと広がっちゃったみたいな感じです。で、静かに芸術作品を見るといった観賞スタイルから逸脱しちゃったみたいな(笑)。



**柴田**●確かに古典的な美術館の概念からすると逸脱していますよね(笑)。

**秋元**●やっぱりそう見られていますか。開館当初はアカデミックな先生方から「あれは美術館とは呼ばないのでは？」といった見方をされていましたが、最近はその見方が大分変わってきたように思います。また、街づくり系のアートをしている人達、つまりアートを

単に見せるのではなく、社会に還元していきたいと考えている若い人達が21世紀美術館のような取り組みを取り入れて、広がりを見せていっているんです。そんな動きもあって、「何かある」と思ってもらえるようになりましたね。

**柴田**●21世紀美術館では何か動いている、と。正確なアナロジーではないですが、ここ「ほん和かふえ。」を含むブックラウンジも本来の図書館ではないだろうと言われていました。逸脱している、と。今までの大学図書館は人類の知的遺産がしっかりと保存され、そこに学生が入ってきて、本を読まさせていただきます、みたいな利用スタイルだった。でも最近はそのようなものであるよりは、場所として使いこなすといったような利用スタイルになっている。蓄えられているデータを使いながら自分たちなりのものを軽いフットワークで発信していく。そういう空間として使いたい、と。利用者の行動が受動的なものから能動的なものに変わった感じですよ。

**秋元**●まさにそうですね。みんな主役になれるから来てると思うんです。ありがたいものを“見させられてる”というよりも、自由な見方ができたり、ワークショップに参加したり、色々自分達でやれちゃうわけじゃないですか。そういうところが面白い。あと、若くして世界のトップレベルで活躍しているアーティストがきて、絡めるわけなんですよ。単にアマチュアが集まっているだけでなく、開かれている空間があって、そこにいつも刺激が持ち込まれる。このあたりが来館者を惹きつけている要因ですかね。



### 人間とは文化的な生き物である ◆◆◆◆◆

**柴田**●究極的には美術も文学も「いらないや」って言われるものですよ。ご飯さえ食べればいいじゃないかと(笑)。そういうわけでもないだろうとは思いますが、21世紀美術館としては、人々の生活の中にどのような位置を占めるのが理想ですか？

**秋元**●難しい質問ですね。確かに食べることを考えれば、大学も美術館もいらないって言われればいらねえですよ。でもこれだけ成熟してきた社会の中で、食べるだけの人はいないと思うんです。歴史を振り返ってみても、食べるだけの人がいたかという、それも怪しいですよ。なにがしかの文化的な活動があったと思います。私としては、生物としてのヒトの上に文化がのっかっていると考えないようにしたほうがいいと思います。人間そのものが文化的な生き物なので。

**柴田**●なるほど。私の専門は哲学ですが、一番いらねえと言われる分野なんです。でも、そういう芸術とか文学とか、あるいは抽象的な思考の楽しみが組み込まれていない人生は存在しないと思うんです。あとは、それをどうやって説明して共感を持ってもらえるか、そしていか



## 学外から電子ジャーナルを読むための2つの方法 ～Shibboleth認証とVPN接続～

情報企画係 守本 瞬

金沢大学で研究・学習されているみなさんは、ネットワーク経由で提供されるデータベース（DB）での論文検索や、電子ジャーナル（EJ）での論文閲覧、その他のWebサービスをご使用のことと思います。

これらのサービスは、金沢大学で購読契約することで利用できているものですので、学内LANからアクセスしないと利用できません。しかし、自宅から、また外出先から利用したいということもよくあるでしょう。

今回は、**学外から有料Webサービスを利用するための2つの方法**をご紹介します。

### 方法1 Shibboleth認証を使う

1つめは、Shibboleth認証（シボレスにんしょう）という方法です。

これは、学外から各サービスのサイトに一旦アクセスした後、金沢大学の構成員であるという認証を行うことで、学内と同様のサービスを受けることができる方法です。

認証は、各サービスサイトに用意された金沢大学専用のログインボタンから行います。ボタンを押すと、金沢大学のShibboleth認証サーバーに接続し、その後ネットワークIDを入力します。本人確認が行われると、利用可能という情報が出版社のサーバーに送られ、学内と同様のサービスを受けることが出来るようになります。cookieを利用しますので、アクセスしている間は複数のサービスを再認証せずに利用することができます。

また、大学のサーバーへのアクセスによって認証することになりますので、PCへのインストール作業などが不要です。インターネットに接続さえ出来れば、どのようなPCでも問題なく利用できます。

金沢大学専用のログインボタンですが、各サービスサイトでの使用方法が異なります。サービスサイト別の「manual」を図書館のホームページにご用意していますので、ご確認ください。

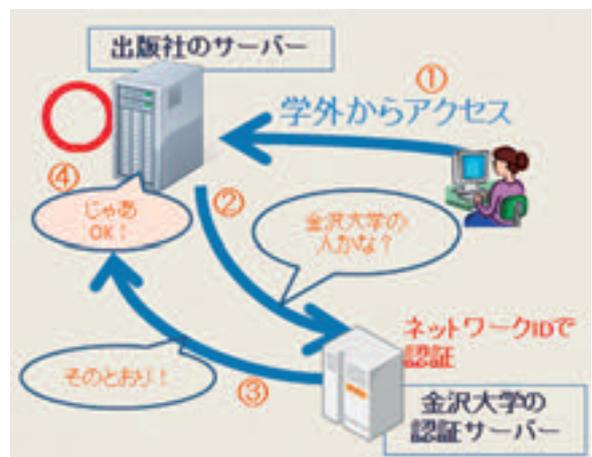
この方法の欠点は、まだすべてのサービスサイトがこの方式に対応しているわけではない、ということです。今後少しずつ対応サイトは増えていく予定です。

Shibboleth認証対応サービスサイト

利用サービス
Scopus
Web of Knowledge(Web of Science, JCRほか)
CiNii
Science Direct
Springer Link
OvidSP
Cambridge Journals Online
Pathology Images

(2010.12現在)

Shibboleth認証の概念図



## 方法2 VPN接続を使う

これは、学外から学内のVPNサーバーへ一度アクセスし、金沢大学のネットワークIDで認証した後、大学を経由して学外サービスを利用するという方法です。

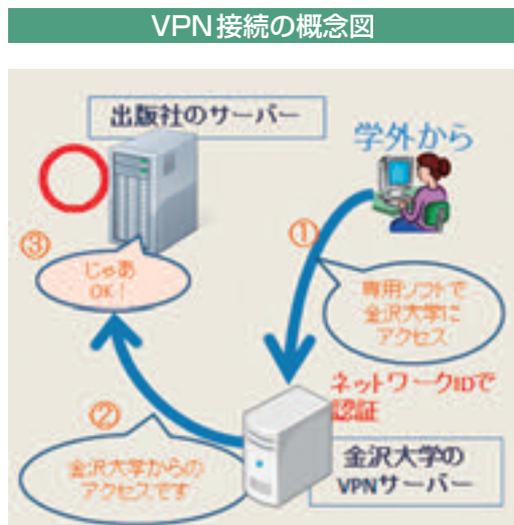
ご利用の際には、PCに専用のソフトをインストールする必要があります。おおまかな手順は以下のとおりです。

1. VPNGWのインストール
2. AnyConnectのインストール
3. 利用の際はAnyConnectを起動

ソフトをインストールして利用しますので、インストールされたPCでないと利用できませんが、ほぼすべてのサイトが利用可能です。Shibboleth認証が使えないサイトに対しては、こちらの利用をお願いいたします。

今回ご紹介した方法で、学外からもDB/EJを利用することができます。研究・学習に役立ていただければと思います。

認証、インストールなどの詳しい手順は、附属図書館ホームページの「学外からの利用」のページをご覧ください。<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/navi/outcampus.html>



## KURA 研究者インタビュー

平成18年6月に「金沢大学学術情報リポジトリKURA」を公開してから4年が経ちました。登録された文献のダウンロード数も、平成22年11月末現在で1,906,576回と、200万回も間近です。

そこで、この4年間の累積ダウンロード数トップ20にランクインした文献を書かれた先生にインタビューを行いました。それがどのような研究で、KURAで公開することで何か変化があったのか、Web公開と研究の関わりなどについて、お聞きしました。

- 第1回 小林信介先生～長野県からの満州移民～
- 第2回 田中康規先生～ポリマーでプラズマを減衰する～
- 第3回 多久和陽先生～動脈硬化を予防する～（番外編：北陸中日新聞に論文発表の記事掲載）
- 第4回 村本健一郎先生～人工衛星から森林を調査する～

インタビュー記事は、図書館ホームページから公開しています。ぜひご覧ください。

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/kura/interview/index.html>

今後もインタビューは続けていく予定です。

## レポート・ライティング・ワークショップから展覧会まで

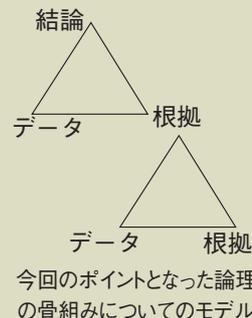
昨年4月にオープンした中央図書館ラーニング・コモンズKULiC-αは、「図書館内の気軽に使える新しいコミュニケーションスペース」としてすっかり定着しました。今期は、次のイベントを行いました。

### オープンスタジオ

#### ■レポート・ライティング・ワークショップ（12月8日、大学教育開発・支援センター主催）

大学教育開発・支援センター 山田政寛准教授を講師に迎え、学生と図書館職員を対象として、レポートの作成法に関するワークショップを行いました。説明を聞くだけでなく、グループに分かれてレポートの評価、意見交換、発表などを行う実践的な内容となりました。

今後も図書館主催で、レポート作成をサポートする講習会を企画していく予定です。ご期待ください。



#### ■広報業務に関する勉強会（12月17日、広報戦略室主催）

本学職員を対象として、広報用チラシや写真の撮影方法についての勉強会を行いました。

### ブックラウンジ

今年度第3回図書館委員会で、ギャラリーαの運用方法を含む、ラーニング・コモンズの運用内規が承認されました。12月には、スポットライトも設置され、本格的な展示にも対応可能となりました。

#### ■ギャラリーαでの展示

- 7月23日～8月6日 電子情報学類集積回路工学研究室電子工作展
- 7月23日～8月6日 写真部作品展
- 8月5～6日 オープンキャンパス期間中、大学案内ビデオを終日上映。「ほんわかふえ。」も臨時開店
- 9月28日～10月12日 JICAパネル展
- 10月25日～11月12日 パネル展「前身校の歴史：第四高等学校」\*資料館特別展関連企画
- 10月18～24日 オープンアクセスウィーク展&スライド投影
- 11月15日～12月10日 能登なう。パネル展（地域連携推進センター里山里海アクティビティ）
- 11月18～29日 講演会「アジア経済圏の中の日本」関連展示（人間社会学域・理工学域共同主催）
- 12月13日～1月14日 ふたり展（本学学生今井絵理さんと杉江亜衣さんによる絵画展）
- 12月22日～1月18日 南極写真展（理工研究域機械工学系 香川博之講師撮影の写真展）



能登なう。パネル展

#### ■イベント

11月7日 金沢大学ピアノの会 大学祭コンサート

12月20日 ミニトーク&座談会「金沢城・三十間長屋に図書館があった?!」→詳細は8ページ参照

■ブックラウンジでイベントや展示等を行うには… 中央図書館係（TEL：076-264-5211）に電話でお申し込みください。イベントの内容については、学内者の主催による、本学に相応しい内容に限ります。

### ●●ほんわかふえ。 図書館の皆さんのおいしいおすすめ ●●

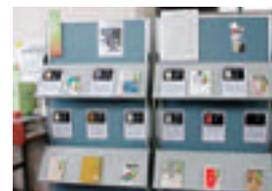
「ほんわかふえ。」のメニューに紅茶やハーブティー（各200円）・本日のスープ（150円）・柑橘類好きには感涙のアップルマンゴーラテ・ジュースやユジャロン（各200円）が加わりました。単品で頼んでよし、サンドセットやケーキセットとあわせてもよし、組み合わせ色々！ますます楽しめるようになりました。また今期一番のおすすめは冬季限定『ホワイトショコララテ（290円）』です。カフェラテにホイップクリームとクーベルチュールホワイトチョコ、苺がトッピングされており、クリームやチョコでくどくなりそうところを苺の酸味がバランス良く引き締め、ほんわり甘くいただけます。少し増えたほんわか文庫と一緒に要チェックです！

## 金大生のための読書案内－教員から学生へ

リレー形式で続いている教員おすすめ図書コーナーです。第7回は大学院法務研究科の尾島茂樹先生，第8回はがん研究所の松本邦夫先生のおすすめ図書です。このコーナーは中央図書館にありますが，昨年9月から医学系分館にもコーナーを新設し，第6回の渡辺良成先生の分から医学系分館での再展示を開始しています。

今後は中央図書館で一定期間展示した後，医学系分館に移して再展示します。宝町キャンパスの皆様，お見逃しなく！

以下のHPで紹介文の全文を公開していますので，併せてご覧ください。



松本 邦夫 教授(がん研究所)

## 「志を育てる」

第8回

平成23年1月11日～ 中央図書館で展示中

	書名	著者・編者	出版事項	所在・請求記号
1	プロジェクトX 1-30	NHKプロジェクトX制作班編	日本放送出版協会, 2000.6-2006.3	図開架(6-10, 12-30)・自然図(1-11) 210.76:P964
2	国家の品格	藤原正彦	新潮社, 2005.11	図開架 304:F961
3	とんび	重松清	角川書店, 2008.10	図開架 913.6:S555
4	生き方の研究	森本哲郎	新潮社, 1987.9-1989.10	図開架 159:M857
5	続 生き方の研究	森本哲郎	新潮社, 1987.9-1989.10	図開架 159:M857
6	できそこないの男たち	福岡伸一	光文社, 2008.10	自然図・医保図 467.3:F961 医図書 Q S640:F961
7	ガン回廊の朝	柳田邦男	講談社, 1979.6	図開架 490:Y21 医保図 T490:Y21
8	新インスリン物語	丸山工作	東京化学同人, 1992.12	図開架 464.55:M389
9	インフルエンザ危機(クライシス)	河岡義裕	集英社, 2005.10	図開架 493.87:K22
10	日本沈没1-2	小松左京	小学館, 2006.1	図開架 913.6:K81

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/portal/osusume/1101matsumoto.html>



尾島 茂樹 教授(大学院法務研究科)

## 「今回は「ちょっと違った」金大生のための読書案内」

第7回

平成22年1月18日～ 医学系分館で展示中

平成22年9月10日～平成23年1月9日中央図書館で展示

	書名	著者・編者	出版事項	所在・請求記号
1	自分で考えるちょっと違った法学入門	道垣内正人	有斐閣, 2007.2	図開架 321:D731
2	役人学三則	末弘巖太郎	日本評論社, 1980.5	図開架 320.4:S944:5
3	ある法学者の軌跡	川島武宜	有斐閣, 1978.7	図開架 320.4:K22
4	民法のもう一つの学び方	星野英一	有斐閣, 2006.2	図開架 324:H825
5	市民社会と「私」と法: 高校生のための民法入門	大村敦志	商事法務, 2008.5	図開架 324:O57:1
6	ご冗談でしょう, ファインマンさん	リチャード・P. ファインマン	岩波書店, 1986.6-7	図開架 289.3:F435:1-2
7	浮気人類進化論: きびしい社会といいかげんな社会	竹内久美子	晶文社, 1988.5	図開架 481.78:T136
8	若き数学者のアメリカ	藤原正彦	新潮社, 1977.11	図開架 302.53:F961
9	われ笑う, ゆえにわれあり	土屋賢二	文藝春秋, 1997.11	図開架 104:T882
10	すべてがFになる: The perfect insider	森博嗣	講談社, 1998.12	図開架 913.6:M854
11	火車	宮部みゆき	新潮社, 1998.2	図開架 913.6:M685
12	殺人の門	東野圭吾	角川書店, 2006.6	図開架 913.6:H634
13	十角館の殺人	綾辻行人	講談社, 2007.10	図開架 913.6:A973

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/portal/osusume/1009ojima.html>



## 図書館



### 明後日朝顔収穫祭

夏の間、色とりどりの花を咲かせていた明後日朝顔の収穫祭を12月9日、中央図書館玄関前で行いました。当日は、あいにくのお天気でしたが多数の教職員、学生に参加をしていただき、約3kgもの種を収穫することができました。収穫した種は、ご希望の方にお分けしますので中央図書館サービスカウンターまでお越しください。また、朝顔のツルを利用した巨大なリースを作りました。



### 金沢大学創基150周年記念自主企画事業「みんなが集う場所、図書館で金沢大学の過去・現在・未来を語ろう！」

図書館では創基150周年記念自主企画事業として標記タイトルのもと、次のイベントを行いました。

#### ○図書館イルミネーション

12月9日から2月末までの間、中央図書館の壁面においてイルミネーションの点灯を行っています。夏の間は明後日朝顔が咲いていた場所を、図書を表す赤い光、中央図書館の天井を飾る四高の北極星にちなんだ黄色い光、創基150周年を記念する青い光で鮮やかに彩り、真っ暗だった中央図書館前を明るく照らします。



#### ○ミニトーク&座談会「金沢城・三十間長屋に図書館があった?!～附属図書館の歩みを語る～」

12月20日、附属図書館元職員の越野正勝さん（前かほく市立七塚、高松、宇ノ気図書館長）をお招きしてミニトーク&座談会を開催し、金沢城内に金沢大学があった頃の思い出を語っていただきました。当時を知る人には懐かしいお話も、来場された学生の皆さんには新鮮に聞こえたと思います。トークで紹介された写真を含む大学の昔の写真は、「金沢大学写真で見る50年」（金沢大学学術情報リポジトリKURAにも登録されています）で見ることが出来ます。



### 就職支援図書展

11月15日から12月5日にかけて中央図書館2階ホール（サービスカウンター前）で就職支援図書展を開催しました。館内には「就職支援図書コーナー」があります。お役立てください。



### 保健学類図書室の土曜日開室時間延長のお知らせ

学生の皆様のご要望にお応えして、平成23年4月より、保健学類図書室の土曜日開室時間を、現在の13:00-17:00から10:00-17:00へ延長いたします。特に、平日の来室がむずかしい社会人大学院生の方々には、ご利用いただきやすくなります。保健学類図書室は明るくてキレイな図書室です。今後も、学習・研究活動にどうぞ活用ください。

### 医学系分館の貸出冊数・期間が増えます！

医学系分館における図書の貸出冊数・期間が以下の通り変更されます。

貸出冊数： 5冊（現行 3冊）  
貸出期間： 14日間（現行10日間）

平成23年2月1日から試行し、4月1日に正式運用となります。どうぞご活用ください。

なお、視聴覚資料及び雑誌の貸出可能数・期間は現行のままです。

### Pecha-Kucha とぼらがスタート！

ほんわか文庫の選書、映画上映会、読書会、CD展…今年も大活躍中のとぼら（図書館学生ボランティア）です。10月からはブログもリニューアル。とぼらのメンバーがその名のとおりPecha-Kuchaと楽しいおしゃべりしています。

ぜひご覧ください。



CD展 クラシック界  
〈〇〇作曲家たち〉  
(12月6日～17日)

### オープンキャンパス2010特別企画

#### 図書館&資料館サマー・アドベンチャー

8月5～6日に行われたオープンキャンパス。中央図書館では、資料館や「ほんわかふえ。」と協力し、簡単な問題を解きながら、館内12のチェックポイントを巡るオリエンテーリング形式の館内ツアー「サマー・アドベンチャー」を開催しました。

2日間で約170名の方がご参加くださいました。毎日先着50名の方にプレゼントした飲み物券や粗品も好評でした。



### 活動記録 (2010.7-2010.12)

#### ☆会議など

図書館委員会：第2回 7月14日、第3回10月18日  
第4回12月6日

学生用図書選定部会：

(中央図書館) 第2回8月2日、第3回10月14日  
(自然科学系図書館) 第2回7月28日、第3回10月12日  
ラーニング・コモンズ運営部会：第2回10月13日

### 金沢大学附属図書館報「こだま」第173号

平成23年1月31日発行 発行：金沢大学附属図書館  
編集：広報委員会 印刷：株式会社 橋本確文堂  
〒920-1192 金沢市角間町 TEL：076-264-5200  
E-mail：etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp